

受付	令和 4年 11月 24日
	午前・午後 10時 22分

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 11月 24日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 松本 茂

質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
<p>1. 人口対策について (村営住宅・住宅団地の建設を)</p>	<p>村では、現在人口対策として空き家住宅を活用し移住者の定住に努力されています。空き家の物件の中には相続が難しい物件、改修費や購入費に多くの資金を必要とします。また移住される方には農地の斡旋や就労の指導も伴います。</p> <p>現在須坂インター周辺に大型店の誘致による造成工事が進んでいます。工場団地にもオリオン機械・鈴木など有力企業が進出します。一般サラリーマンの受け皿として、住むところ、住宅がなければ人口は増えません。村営住宅・住宅団地を作ることです。</p>
	質 問 要 旨 と 質 問
	<p>内山村長は一期目の公約に人口 8,000 人を旨とする公約を掲げて当選されました。人口減少化の波が全国的であっても原村や生坂村では計画的に村営住宅を建設し人口減少を食い止める努力をしています。</p> <p>地方自治体が行う財政投融资すなわちインフラの整備が村の発展や村内企業の成長に寄与し、人口が増えることや減少を抑えることにより村勢の維持が可能となります。村を衰退させないためにも一年でも早く村営住宅や住宅団地に着手すべきと考えますが。答弁願います。</p>

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。